

令和6年度「60（ロクマル）プラス」優良実践校 実践報告書

1	実践校名	大船渡市立越喜来小学校
2	実践名	自分の健康に関心を持つために ～ICT・保健ファイル・げんきアップカードを使った取組～
3	実施対象者	児童及び保護者
4	目標	健康意識を高め、生活リズムの確立とう歯予防のための生活実践を促す
5	実践内容	<p>① 学校目標「かしこく やさしく たくましく」 健やかな体 健康な身体への意識を高め、自己管理能力の向上 資料①</p> <p>②推進体制について 教務（中学校区での取組、連携）生徒指導（児童会）体育指導（業間体育）保健（げんきアップの取組・栄養教諭との連携）各分掌と連携をとりながら計画作成、実施。 家庭の協力が得られて、よりよい生活が送られるように項目を設定する。 児童自身や保護者が前回の取組と比べて改善した点は何かが分かるようポイント制で点数で表すようにしている。また、保護者が係わる項目、自分で努力する項目はボーナスポイントがつく。家族の協力を得て取り組むようにした。 資料②</p>
		<p>③ ICTを活用した養護教諭による健康観察 資料③ 児童の健康、生活状況の実態把握及び養護教諭とのつながりを重視した内容としている。 （就寝起床時刻・朝食の摂取・排便の有無・保健室からの情報提供や休日の過ごし方、相談・質問など、自由記述欄を設定した）</p> <p>③保健ファイルの活用（健康についてのファイルを1人1冊活用） 取組について前回と比較し、生活習慣の改善点が分かるようにファイル保管している。</p> <p>③児童会の取組として 2学期の取組には「本に親しませ生活リズムを考えさせる」が指導目標となっており児童会も目標に併せて学年ごとに取り組む、結果を掲示している。</p> <p>③個別面談と栄養指導 できるだけ歩いて登下校するだけで運動量が変わること、そのためにも生活リズムが大切であることを個別に指導した。また、献立の工夫に悩んでいる家庭も多かったため、給食センターの栄養教諭を招聘し、栄養指導を実施した。</p> <p>④60（ロクマル）プラスプロジェクトについて学校経営計画に明記 年間指導計画に実施内容を標記している。 児童や家庭の状況、問題点を常に職員間で情報共有し、言葉かけ、取り組みしている。 地区懇談会や参観日を利用し、取組についての理解を求めた。 家庭で話し合い、改善点が見られるよう、自分の生活が振り返られるような取組を目指す。 時間を意識し、自律した生活を送ることが出来る児童の育成を目指す</p>
		<p>⑤児童が健康についての関心を持つことで、意識化を図る 児童の実態把握を行ったうえで、改善を図りながら取組を推進する。 ファイルを作成することで前回と比べてどうだったか、次は何を頑張るかなど児童自身が考えられるようにする。生活習慣の定着については、ロイロノートでの健康観察によりチェックをし、生活の乱れが見られるときは、担任に情報を提供し、児童の様子を観察してもらおう。必要に応じて個別に面談をするなど細かい配慮をする。（生活について児童を責めない。何があったのか、健康状態は良いのかなどを確認する）</p>
6	成果	<p>地区懇談会や特に11月の取組では、学校保健委員会の講演会で学校歯科医師より「むし歯予防は生活習慣の確立から」というテーマの講演があり、学級懇談会で各担任が取組について説明したことにより、少しずつ変化が見られてきた。また、自分で起きる・仕上げ磨きをしてもらう・早く寝るようにする・時間を意識して動くなどの改善点が見られた。</p> <p>肥満指導では、栄養教諭による指導は好評だった。特に、休業中の昼食やおやつの内容など悩んでいる家庭が多く、具体的に指導を受けることでやってみようという家庭が出てきた。歩いている登下校やおやつ量、運動について見直した家庭もあり、肥満度が改善した児童もいる。</p>
7	課題	<p>取組が少しずつ浸透してきているが、負担に感じないように継続する。また、児童、保護者、地域の実態を把握し、問題点や改善点を探る。</p> <p>これまで同様に学校医、学校歯科医、栄養教諭など専門家の助言や講演の機会を設定し、保護者にも生活習慣の確立の必要性をアピールし、よりよい健康生活の確立のために共に力を合わせるという意識を育てていく。</p>
8	今後の予定	職員間で情報共有し、問題点や改善点などを検討する。 保護者の協力を得るためにどうしていくかを検討する。



大船渡市立越喜来小学校 令和6年度学校経営グラウンドデザイン

学校経営の基本理念

- (1) 児童が伸びる越喜来小学校
夢と希望をもって自ら学び、困難に打ち克ち、自ら人と関わりながら、心身ともに健全に成長する児童を育てていく。
- (2) 教師が伸びる越喜来小学校
教育の専門家としての自覚と誇り、高い倫理観をもち、一人一人が自己研鑽に務める。
- (3) 保護者が伸びる越喜来小学校
教師と保護者が児童の実態や課題を共有し、共に考え、信頼関係を深めながら成長していく。

学校教育目標

かしこく やさしく たくましく

学校経営の基本方針

- 1 子供を中心に据えた判断基準のもとで学校経営にあたる。
- 2 知・徳・体の調和の取れた人づくりに努める。
- 3 社会の変化や教育課題に対して、柔軟かつ協働の精神をもって職責を果たす。

目指す学校像

- (1) 明るく、喜びと感動のある学校
- (2) 家庭や地域から信頼され、協働する学校

目指す教師像

- (1) 授業に情熱を傾け、児童や保護者に信頼される教師
- (2) 子供の成長を喜び、子供とともに歩む教師
- (3) 研鑽を積み、共に高め合う教師
- (4) 協働の精神を大切にし、チームとして取り組む教師
- (5) 危機管理意識をもって職務にあたる教師
- (6) 高い倫理観をもって指導にあたる教師

確かな学力

かしこい子：主体的に学び続ける子
 基礎基本の内容が身につけている子
 読書に親しむ子

ア 「主体的・対話的で深い学び」を促す授業の推進

- (ア) 確かな学級経営（支持的風土の醸成された学級づくり）
- (イ) 言語能力の育成（言語環境、言語活動）
- (ウ) 目的を明確にし育成すべき資質・能力を意識した授業づくり

イ 「分かる・できる」授業による基礎基本の定着

- (ア) 個別最適な学びと協働的な学びの一体化
- (イ) 家庭学習の習慣化

ウ ICTの効果的な活用

- (ア) これまで培ったノウハウを他教科等で広く実践
- (イ) 活用系統表に基づいて、活用能力の育成

エ 読書の習慣化と読書教育の充実

- (ア) 図書館活用の促進
- (イ) 読み聞かせ、親子読書の継続



復興教育（防災おきらいプラン）の推進

- ① 災害から自分の命は、自分で守る技能と判断力の育成
- ② 東日本大震災を語り継ぐ活動の推進
- ③ 郷土を愛し、郷土の発展について主体的に考える人材の育成
- ④ 感謝の心と奉仕の心の育成
- ⑤ 各種行事、学習活動に復興教育を位置付けた実践

豊かな心

やさしい子：思いやりや感謝の心をもてる子
 明るい挨拶ができる子
 自然や美しいものに感動できる子

ア 温かな人間関係づくり

- (ア) 話し合い活動の充実（聞き合う力、温かい言葉遣い）
- (イ) 異学年交流の充実（児童会活動、清掃活動ほか）
- (ウ) 当番活動、係活動等キャリア教育の視点を意識した活動
- (エ) 集団生活における規範意識の向上

オ 道徳科の授業を要とした道徳教育の充実

- (カ) 「おはよう、ありがとうございます、失礼します、すみません」など素直に言える環境づくり

イ いじめや不登校等への迅速かつ適切な対応

- (ア) 積極的な教育相談（お話タイム、相談タイム、SC活用ほか）
- (イ) 人権意識の醸成

ウ 越喜来の豊かな自然環境や人的環境など郷土を愛する心の育成

- (ア) 地域素材や地域人材を活用したカリキュラム開発及び改善
- (イ) こども園との連携を生かしたスタートカートカリキュラムの改善

特別支援教育の推進

- ① つなぐ 就学前から卒業後までの一貫した支援の充実
- ② いかす 各校種における指導・支援の充実
(特別支援学校、交流籍交流、教職員の専門性向上)
- ③ 支える 教育環境の充実
(R6 知的・情緒・難聴の3学級、ことばの通級指導教室)

健やかな体

たくましい子：明朗かつ心身ともに健康で、自立心のある子
 目標に向かって粘り強く取り組む子
 自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を心がける子

ア 健康な身体への意識を高め、自己管理能力の向上

- (ア) うがい、手洗いの励行。ハンカチ、ティッシュ持参
- (イ) 保健日より、給食だよりによる啓発
- (ウ) 早寝、早起き、朝ごはんの推奨

イ 体力向上と課題を克服する力の育成

- (ア) 全校業間マラソン、なわとび
- (イ) 60運動プラス実践

ウ 生命の尊重

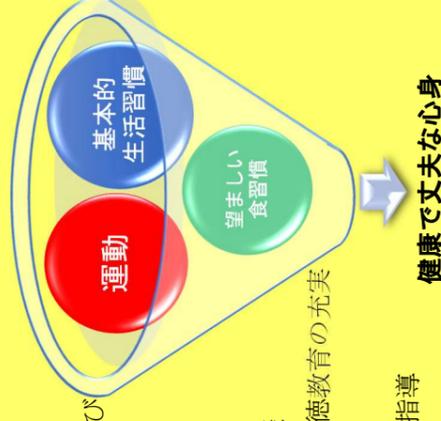
- (ア) 外部講師による講話
- (イ) SC等の活用による心の相談
- (ウ) 道徳科の授業を要とした道徳教育の充実

エ 歯や肥満等対策

- (ア) 学校歯科医、栄養士による指導
- (イ) 保健体育

オ メディアコントロール

- (ア) ICTを含めたメディアに対して、自制できる態度の育成
- (イ) メディアコントロール週間



保護者・地域との連携

- ① 学校運営協議会と連携し、積極的な地域人材の活用
- ② 校報や学級通信等で学校の様子を発信するとともに、メール等を活用しながら迅速な情報提供

げんきアップカード (記入例)

ねん 年 なまえ 名前：

配布：◎月×日（金）めあてをきめ、◎月△日（土）～◎月□日（火）まで取り組み 提出：◎月○日（水）

☆めあては、^{かぞく}家族で話し合^{はな}って決^あめて、取^とり組^くみましょう。おうちの人にも協^{ひと}力^{きょうりょく}してもらって取^とり組^くんでみましょう。

	日（にち）		21日	22日	23日	24日	25日
	曜日（ようび）		キン 金	ド 土	ニチ 日	ゲツ 月	カ 火
メディアコントロールに チャレンジ！！	ルールを守れた	3 ^{てん} 点	点	点			
	ルールを話し合った	2 ^{てん} 点	点	点			
★ ノーメディアにとり組んだ！		5 ^{てん} 点	点				
はやお 早起き 6時30分までに起きる	6時30分までに起きた	3 ^{てん} 点					
	7時までには起きた	2 ^{てん} 点	点	点			
★ 自分で起きた *めざましどけいもいいよ。	できた！	5 ^{てん} 点					
あさ 朝ごはん	たべた	5 ^{てん} 点					
	たべなかった	0 ^{てん} 点					
	した	2 ^{てん} 点					
あさ 歯 brushing	できた！	0 ^{てん} 点					
		1					
		0 ^{てん} 点					
		3 ^{てん} 点					
		0 ^{てん} 点					
★ 仕上げみがきをしてもらった みがいた後、チェックしてもらった		5 ^{てん} 点	点	点	点	点	点
はや 早ね	できた	3 ^{てん} 点					
	1～3年：9 4～6年：10	0 ^{てん} 点	点	点	点	点	点
いつかかんのごうけい 5日間の合計			20 ^{てん} 点				
							100 ^{てん} 点

すでに家庭内のルールがある時は、守られているか確認します。まだ、ルールがないときは話し合いをしましょう。話し合いをすれば2点。約束が守られれば3点。
メディアルールを決めるときは
 「やることをやってから…」などあいまいではなく
 ◎宿題・お手伝いをやってから…。
 ◎30分だけ、1時間だけ
 ◎子ども部屋に持ち込まない
 ……など

朝ごはんは、毎日しっかり食べて欲しいので、食べたか(5点)食べないか(0点)とします。

できた！というわけじゃないけど…がんばってるなあ～、意識してたんだけど……というときは、おうちの方が1点でも、0.5点でもポイントを加点するのもOKです。

お家の方と計算してみましょう。特に低学年はご協力ください。

★の項目にとり組むとボーナスポイントがついて100点以上になります！！

*がんばったことやこれからがんばりたいことをかきましょう。

担当
チェック

☆いろをぬりましょう！

75点以上 74～60点 59点以下

<おうちの方から> *取り組み期間中の様子やはげましの言葉等をお願いします。

